

COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents
and Secretaries in
DISTRICT 2790
2010-11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 12



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
Ray Klingensmith

■ガバナー事務所
〒288-0041
銚子市中央町13-2 ヤシオビル3F
TEL 0479-26-3380
FAX 0479-25-6665
E-mail 10-11gov@rid2790.jp
URL <http://www.rid2790.jp>

「親睦と奉仕の調和」 ロータリー思想の原点



RI第2790地区
ガバナー

織田吉郎

ロータリーは1905年「1業種1会員制」で異業種交流による親睦のクラブを作ろうと産声を上げました。そして2年後には奉仕の概念が導入され、ロータリーは一気に世界的な広がりを持ち始めます。

1910年、ポール・ハリスは「ロータリーは親睦と奉仕の間に宿る」と言い、それまで3年続いた親睦と奉仕の論争に終止符を打ちます。これがロータリー思想の原点となりやがて職業奉仕の思想に結実して、ロータリーは飛躍的な拡大をとげてゆくのです。

仲良くするエネルギーが世の為、人の為となる奉仕のエネルギーを生み出してゆくこと、つまり、親睦と奉仕は一体のものという考え方はロータリーだけが開発したもので、それが「職業奉仕の実践は例会出席からはじまる」という考え方を生み出しました。酒飲み会やゴルフ等を通じた親睦はどんな団体でもやっています。ではロータリーの親睦はどこが違うのかといえばそれは唯一点、会員が相手から何かを学ぼう、自分を高めてゆこうとする姿勢を持ち続けている人々による親睦ということです。ロータリーの親睦は単なる仲良しエネルギーの拡大を意味しているものではないのです。

第2次大戦突入前夜の1940年9月、軍閥はロータリークラブをアメリカのスパイと見做して解散命令を出します。その時日本には48クラブ2,142名の会員がいました。現在の一地区にも満たないこれらの会員はしかし粒選りの人々でした。ほとんどのクラブは「水曜会」「木曜会」等と名を変えて例会を続けました。まるで隠れキリシタンのように…。

会員に危険を冒してまでそうした行動をとらせた理由は何だったのでしょか。それは職業奉仕の思想、ロータリー思想の崇高性が日本人会員の心を捉えたことと、質の高い親睦があったからに他なりません。

ロータリーの親睦とは感性的親睦にはじまり理性的親睦に昇華させることとすることができます。1業種1会員制によって選ばれた質の良い会員同志の異業種交流によって生まれる親睦、それこそがロータリー運動の大黒柱なのです。

スタイル（様式）を磨こう

東日本大震災義援金の経過報告

2011年3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々のための義援金募金に積極的にご支援をいただきました各クラブ会員の皆様に心よりお礼を申し上げます。

- ① 日本全地区34名のガバナーで組織されておりますガバナー会で協議の結果、全地区からガバナー会に寄せられた義援金はガバナー会の中に「東日本大震災支援検討委員会」を立上げその用途を検討することになりました。
- ② 義援金は5月16日までに全国から831,879,947円（当地区では5月13日現在41,625,674円）が集まっております。このうち、4月1日から15日までの間に被災地区（D2520（岩手・宮城）D2530（福島）D2550（栃木）D2790（千葉）D2820（茨城）D2830（青森））ガバナー宛に見舞金として115,000,000円が送金されました。当2790地区にも見舞金として15,000,000円が送金されました。
- ③ 地区内に振り込まれた15,000,000円は5,000,000円を地区内被災地クラブにその被災比率に応じて見舞金として配分しました。残る10,000,000円はその用途について検討すべく「地区・東日本大震災被災者支援検討委員会」を立上げました。
- ④ 東日本大震災支援検討委員会はこれまで2回の委員会を開催し皆様からの義援金のロータリーらしい用途について、関東大震災・阪神淡路大震災・中越地震のとき先人ロータリアン達が実践したロータリーらしい支援活動に学びながら、真剣な議論を重ねてきました。とりあえずその中間報告をさせていただきます。
ロータリーらしい支援活動とは、①公正にして、②建設的であり、なお且つ③心温まるプログラムであること、という視点から次の2本の柱を設定し鋭意検討を進めております。

(1) 災害遺児の教育環境支援プログラム

高校・大学・専門学校生への奨学金支援

(2) ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラム

非被災5クラブが1つのグループを作り、被災1クラブを物心両面で支えるプログラムの展開

これらの活動を展開するにあたっては、インターアクト、ローターアクト、RYLAの新世代プログラムとカウンセラー、ホストクラブ等ロータリー既存の制度を最大限活用して、災害遺児とその家族にあたたかく寄り添えるようなプログラムにしたいと考えております。年度をまたぐことになるかもしれませんが、近日中により具体的な支援内容をご提示できるものと思います。

義援金は一応毎月20日に締め切り日を設定していますが、その後も継続して募金活動を続けますので、今後も被災地復興のためにご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。

ガバナー 織田吉郎

見舞金の配分	支払見舞金
旭	160万円
浦安・浦安ベイ	130万円
習志野・習志野中央	70万円
佐原・小見川	40万円
銚子・銚子東	40万円
佐倉・佐倉中央	30万円
我孫子	30万円
千葉他10クラブ	30万円
東金ビューー	20万円
計	550万円

これらの見舞金は被災都市クラブのうち最も設立の早いクラブに一括振り込ませていただきました。関連クラブでご相談の上有効にお使い下さるようお願いしております。

1年を振り返って

1年を振り返って

第1分区ガバナー補佐
大八木 諭
(浦安RC)



2009年11月13日、最初のガバナー補佐勉強会に集合がかり出席しまして、1年半になります。もともとロータリーには関心が強く有る方とっておりましたので、気軽な気持ちで行ったことを覚えております。又、振り返って考えると大変自分の為になったとっております。世界ロータリーの数字による分析、会員減少の現実、これからのロータリーについてと色々な面からの考え方等でございます。ガバナー補佐としてガバナー公式訪問を6クラブ一緒にさせて頂きながら情報研究会の開催、IM開催と、クラブの会長・幹事に助けられながら、無事終わることもできました。ガバナー補佐会議では織田ガバナーよりよく聞かされた「ロータリーの様々な局面について勉強し直す」「自分のクラブは自分のクラブで守る」「ロータリーの根底は職業奉仕である」等、そういう言葉が私の心に残り、その意味を理解する1年でもありました。又、今年3月11日2時46分、東北地方太平洋沖地震が発生しました。被災状況は皆様方ご存知の通りでございます。その中で我がロータリークラブの活動はまさに「職業奉仕」に有りと感じる事がたくさん有りました。今まさに始まった復興支援に力を注ぎ長期に活動が求められる時であるように思います。「復興日本」をめざしロータリアンも頑張るって前進しましょう。1年間有難うございました。

ガバナー補佐を終えるにあたり

第3分区Aガバナー補佐
宇佐見 透
(千葉幕張RC)



時間というものは使い次第で感じ方が変わる。苦しい時には長く、夢中になっている時には短く感じてしょうがない。振り返ると“光陰矢の如し”の実感からこの1年半は後者だったに違いないなどと考えていた。そして運命の3月11日を迎えた。地震大国のわが国は、これまで幾多の大震災にも必ず復興を果たしてきた。日本沈没とまで云われた阪神淡路大震災は17年前だ。この国には、目を疑う様な絶望の中にあっても沈着冷静な判断をする人々が多数おり、美しいまでの道徳心が満ち溢れている。「神は乗り越えられる試練しか与えない！」TVドラマの言葉に励まされながら、私たちはもがき苦しみ、そして今こそロータリアンとして何をすべきかを皆で考えている。もう少し時間が必要だ。責務を果たさずに任を終えねばならない。幕張RCの会員及び会長幹事諸氏と、第3分区内幹事団及び事務局の皆様心に心よりの感謝を申し上げます。

1年を振り返って

第2分区ガバナー補佐
金子 研一
(船橋東RC)



今年度一年を振り返ってみますと、あっと言う間であり、自分なりに何か皆様の御協力の元、遂行したつもりですが、行きとどかなかった点あるかと思えます。また、震災の為に分区親睦ゴルフ大会が中止になりましたが、その分、第二分区として義捐金をG会へ送金させて頂きました。

補佐になり、自分なりのロータリー感を述べさせて頂きたくと、RIでは、この数年間揺れており、単位クラブの独自性と自治権が侵されて、RIの直接的支配権を徐々に強めており、日本のロータリアンは、以前より抵抗しているのが現状に思えます。

財団寄付もアメリカの配当利回りの良い兵器会社への投資に使われており、ロータリーの世界平和という目的に反するようにも感じます。

これからのロータリーの将来を考え、何が正しいのか、何が間違っているのか、まだまだロータリー哲学が出来ていない自分自身に悩んでいる一年であり現在です。

この1年間を顧みて

第3分区Bガバナー補佐
水野 謙一
(千葉南RC)



2010年度より2011年に掛けガバナー補佐を拝命し、第3分区Bの会員の皆様にお力添えを頂き無事任期を終了できました事感謝申し上げます。又、この大役を仰せつかりガバナーより色々任期中の方針をお聞きし両の肩に事の重さが大きく感じられる日々も有りましたが、各クラブに挨拶廻りを始めますと何と無く仕事に没入出来、安心感が出、恒例の新旧会長、幹事、事務職の引き継ぎ業務も素晴らしい方々の面識を得て此の職責をお引き受けして良かったとロータリーの偉大さを感じ、是からの1年間共に仕事出来る喜びに浸り友好の輪が更に大きく成る実感が出ました。各クラブ、ガバナー訪問に際しては、ガバナーの卓話の時間、クラブ協議会等、心のこもる例会を開催して頂き感謝申し上げます。其々のクラブは長い伝統の上に立つ素晴らしい例会を行って来たクラブで有るとの実感が肌に重く感じられ身が引き締まる思いがしました。

今期ガバナーがロータリーに対する考え方を的確に云われた事で、其々のクラブでの物の見方、考え方、是からのクラブ運営に大いに参考に成り指針にも成り、理事会に於いても自クラブに何が適して、何が不適切か選択し、正しいクラブ作りになると思います。又クラブのスタイルを会員同士が錬磨し合い更に社会に奉仕を行い社会に認められる団体に、同時に進んで入会して貰える会員増強が出来る団体に成るよう、みんなで努力では無いでしょうかと思っております。

今年の3月に東日本にもたらした戦後初めての大震災、原子力発電所の崩壊による放射能災害、いずれを取りましても1日も早い災害の除去と住民の平和、安心の到来を心よりお祈り申し上げ日本全体で援助の手を差し延べたいと思っております。

ガバナー補佐になって1年

第4分区ガバナー補佐
北見 洋司
(君津RC)



当初就任のご挨拶をかねて分区内のクラブを訪問させていただきましたところ、それぞれのクラブの会員の皆様から暖かい励ましと応援の言葉を頂きました事が、本年度1年間私がガバナー補佐としての任を果たす為の、原動力となったのではないかと思います。

分区全体の行事としてのロータリー情報研究会におきましては、分区内の会員の皆様の活発な意見交換がなされ、成功裏に終了することができました事に感謝いたします。

そしてインターシティ・ミーティングにおきましては、地区大会でもRI会長代理として参加され講演された田中毅PDGにお願いし、『職業奉仕・その原点と未来展望』という演題で講演をしていただき、参加された会員の皆様から大変な反響を頂きました。

最後に東日本大震災で災害にあわれた方々にお見舞い申し上げると同時に、我々ロータリアンが今後何ができるかを共に考えたいと思います。ありがとうございました。

『御礼』

第6分区ガバナー補佐
小川 秀二
(東金ビューRC)



2010-2011第6分区ガバナー補佐に任命いただいた一年が間もなく終わろうとしております。6分区各ロータリークラブの皆様特に会長、幹事様に支えられ非常に実りのあった一年間を過ごさせて頂きました事に感謝申し上げます。本年度はロータリーに真正面から向き合う事から始まりました。その中で織田ガバナーはじめ多勢の皆様との出会いの中から学ばせて頂いた事が数多くあり、初めてロータリーを理解するに至った様な気がしております。今後次の世代のロータリアンに同じ様にバトンを渡していければ幸いと感じております。

1年を振り返って

第5分区ガバナー補佐
佐野 昭雄
(館山ベイRC)



織田ガバナーのもとでロータリーについて真剣に考え勉強をさせていただいた一年間でありました。またIMでの白鳥パストガバナーのお話、情報研究会での土屋パストガバナーのお話に感心させられ、自分の愚かさを再認識した一年でもありました。職業奉仕の理念の高揚を掲げ分区内の各クラブを訪問させていただきましたが、いざ訪問してみますと各クラブの暖かな歓迎に甘えているだけでありました。分区の皆様には大変お世話になりましたこと厚くお礼申し上げます。分区の行事もほぼ終了しておりますが、北原照久氏のIM特別講演を9月3日に延期致しました。皆様のご来場をお待ちしております。この一年間大変楽しく過ごすことができました。織田ガバナーはじめ地区の皆様、分区の皆様、分区幹事そして館山ベイの会長幹事並びに会員の皆様に心から感謝を申し上げます。

1年を振り返って

第7分区ガバナー補佐
小関 邦夫
(旭RC)



昨年、ガバナー補佐拝命しまして新旧合同会長幹事会も出席し、いよいよ始まるという時に人間ドックにて病が見つかり、そのまま急遽入院となり、退院しましたのが秋も終わる頃になってしまいました。ガバナー補佐としての仕事も大事な前半を入院することになってしまい織田ガバナーをはじめ地区内の皆様、分区内の会員の皆様には大変なご迷惑をお掛けしました。退院後は皆様に温かく迎えて頂き、7分区IMを無事終わることが出来、また各クラブへも訪問を果たすことが出来ました。分区内の会長幹事さんをはじめ会員の皆様に心よりお礼申し上げます。

1年を振り返って

第8分区ガバナー補佐
宇井 一雄
(佐原RC)



本当に慌ただしい1年間でした。前任の片倉誠一様が病気から、交代したのが3月7日地区研修セミナーからなので、準備も知識も皆無の状態でした。年度最初の仕事は、次年度の推薦書でした。この時期から準備をしておいたら、知識も十分に調うとおもいます。

4クラブの内2クラブの公式訪問例会が、ロータリー年度開始直前に亡くなった父の新盆にかさなり参加できませんでした。

10月24日の情報研究会は開催までは心配していましたが、海寶委員長・卓話の川名委員・土屋委員長のご協力で無事というより盛会更に立派に記録まで仕上げていただきました。

IMは分区の中で最後に日程が決定し、2月6日講師に夕刊フジ記者久保木善弘氏をお願いして「地域の活性化」として講演して頂きました。

3月11日の東日本大震災では液状化による被害が特に甚大でした。上下水道・家屋の復旧には長期間を要するものと思われまます。

1年を振り返って

第9分区ガバナー補佐
石井 勝雄
(印西RC)



私にとりまして、本年度は地区次年度基本方針説明会を皮切りに、期待と不安の交錯する新年度の始まりとなりました。その時私が感じたものは、今より30年前に印西ロータリークラブに入会させて頂いた時と同じ思いであり、忘れかけていた高揚感を思い出し、もう一度ロータリーについて勉強し直そうと気持ちを新たにしました。月日の過ぎるのは早いもので、今年度も残すところ2か月となり、私の役割は終了します。この1年は、就任挨拶の各クラブ訪問、ガバナー公式訪問、分区会長幹事会、地区補佐会等々、今迄と違った新たな人達との出会いと感動の連続でありました。この事は、私にとって何ものにも代えがたい経験であり、大事に持ち続けたいものと思っています。分区の二大イベントであります情報研究会とIMは、各クラブの会長、幹事、地区研修委員の皆様のご協力に依り成功裡に終了する事ができました。改めて感謝申し上げます。私は、今年度サブテーマとして「絆を深め、クラブの活性化を計ろう」を立てさせて頂きました。ロータリーは親睦からも云われ、親睦なくして会の発展は望めません。会員相互の交流に依り学び合い協力し合えば、必ず良い成果が得られると信じ行動いたしました。実に充実した一年であったと大変満足しております。この様な機会を与えて下さいました分区の皆様へ深く感謝申し上げます。

1年を振り返る

第10分区ガバナー補佐
飯合 幸夫
(柏西RC)



ガバナー補佐を拝命して10か月が経過し、残すところ2か月となってしまいました。

ロータリー入会以来三十数年「エンジョイロータリー」で過ごして来た私にとって、自分がその器でないことは一番分かっていました。織田ガバナーをどれほど補佐できたのか、甚だ心もとない1年間でありましたが、第十分区各クラブの会長幹事さん、会員の皆様の温かいご協力で恙無く終われそうです。思い出してみると、7月の各クラブの就任挨拶訪問から始まり、補佐公式訪問、ガバナー公式訪問、分区行事、IM、親睦ゴルフ、合同例会と、緊張の連続でしたが、とても温かい協力をいただきました。特に4月22日の分区親睦ゴルフ・合同例会では東関東大震災のチャリティ募金をお願いして、分区のロータリアンの皆様に多額の義捐金を戴きました。第十分区として、織田ガバナーを通じて旭RCに贈呈させて頂きました。一年間本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

1年を振り返って

第11分区ガバナー補佐
椎名 博信
(習志野RC)



一昨年からはまった織田ガバナーと補佐の皆様との交流は、私のロータリーに対する新境地を開くものに成りました。

年々、会員数が減少する日本ロータリーの危機を、職業奉仕を行う団体として綱領を捉え直す事によって、職業人としての誇りと、クラブの自主性を再構築し、復活へのロードマップが描かれました。

新企画の補佐公式訪問に続く、織田ガバナー（夫妻）の全クラブ訪問。年間を通じた地区職業奉仕委員会の活躍。心に残る地区大会での田中毅氏とビチャイラタクル氏の講演、プロの音楽家と一緒に堂々と歌う銚子RCファミリー、様々な企画を担当された杉山地区幹事長と地区幹事団、精緻な資料作りをやり遂げたガバナー事務所の皆様は深い充実感に満たされる事と思い、補佐として分区情報研究会やIMを行った私も同感です。

最後に私を励まし暖かくお迎え頂いた11分区の皆様。習志野RC増田会長、西田幹事、鳥飼分区幹事に感謝申し上げます。

ガバナー補佐を終えて

第12分区ガバナー補佐
得 居 仁
(松戸東RC)



ロータリーの素晴らしさと、第12分区内ロータリアンのロータリーへの熱き想いを肌で感じる事が出来た大変に幸せな1年間でした。有難うございました。

職業奉仕＝職業倫理の高揚という垂直の内的的芯棒を再び蘇らせ、日本のロータリーを危機から脱出させたいとされた織田ガバナーの念いは、十分に叶えられ、地区内各クラブは磨き上げられました。

全クラブ単独公式訪問での織田ガバナーの正統派ロータリー論に感銘し、ロータリー情報研究会、IMにおける職業奉仕についての双方向討論を経て、職業奉仕を我がものとして自分の言葉で熱く語り合うロータリアンをこの目で見て、日本のロータリーは必ず危機から抜け出す事が出来る、第2790地区はその先駆けとなる、と確信しました。

織田ガバナーの点した日本のロータリー復興への灯火を、永久に守り続けて行くことをお約束して、ガバナー補佐退任のご挨拶といたします。

1年を振り返って

クラブ奉仕委員長
パストガバナー **杉 木 禧 夫**
(茂原RC)



東日本大震災は、テレビの画像を見る度に、日本有数の風景が一瞬に消え、命さえも奪ってしまう自然の猛威、言葉を失いました。大震災で多くの尊い命を失った御霊に深い哀悼の意を捧げるとともに、苦渋の中で被災された多くの方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

特に原発事故は、恐怖を社会に与え、人心の混乱を引き起こしました。国や東京電力は「想定外だった」とはいえ、その責任は重大です。これ等を、多くの報道で見聞するにつけ、今更ではありませんが、「ロータリーの職業奉仕」を強く感じた次第です。

扱、私自身の地区クラブ奉仕委員長としての報告ですが、増強委員会については、年度の目標として会員減少に終止符を打つことと致しました。年初より皆様のご協力もあり、順調に各月増員を計って参りましたが、3月以降の震災がどの様な影響をきたすか目下のところ気掛かりとするところがございます。

広報IT委員会は、主な活動として第65回国民体育大会が当県で開催され、その広報活動の一端を皆様のご支援で担うことが出来ました。感謝申し上げます。

この一年を振り返り、各クラブそして会員皆様様の当委員会の運営に一方ならぬご理解とご協力を衷心よりお礼を申し上げ、ご報告と致します。

1年間を省みて

第13分区ガバナー補佐
高 梨 茂
(野田RC)



昨年7月にガバナー補佐に就任してあっという間に一年が過ぎていったような気がします。

各クラブへのガバナー公式訪問に始まり、9月の情報研究会、11月6日、7日の織田ガバナー地元の銚子での地区大会は素晴らしい大会でした。銚子の地に立ってみますと、地域を育み大陸をつなぐという本年度のRI会長のテーマに合っているように感じられました。

2月5日のIMには杉木禧夫パストガバナーをリーダーとしてお迎えし格調の高い講演を頂き、5クラブの合同例会と会員の親睦がはかられました。ガバナー補佐にとりましては年間の最大行事が、会長、幹事を始め会員皆様のご協力で無事終了致しました。感謝申し上げます。3月11日の東日本大震災、人類史上例を見ないといってもよい地震、津波、原子力発電所破壊、今後何年、何十年かかるかわからない復興の道、私達ロータリアンとしても何か少しでもご支援できればと思います。

この一年ガバナーのご指導を始め、会員皆様のご協力を心より感謝申し上げます。

会員増強と会員維持

会員増強委員会
委員長 **石 井 七 郎**
(千葉北RC)



会員増強はRIにとっても地区にとってもクラブにとっても最重要課題であります。毎年右肩下がりの会員数を何年も続いて来ました。今年は何としてもこの傾向に歯止めをかけ一人でも二人でも前年度よりプラスにしたいと活動して来ました。各クラブから提出された増強計画数は191名でこの2月現在以下の成果になっております。

会員数	増強計画数	入会者数
2010・7・1 2,773名	2010～2011 191名	2011・2現 145名
退会者	増減	年度末増強
2011・2現 117名	2011・2現 +28名	2011・6 46名

上記の通りでございます。何とか年度末までに目標を達成したいと思っております。今年度はガバナー・GA・クラブ会長の皆様にご協力を頂き有難うございました。会員増強は全ての会員にとって永遠のテーマであります。

1年間関係各位のご尽力に深謝致します。

地区委員長として1年を振り返って

広報・IT委員会
委員長 内 貴 洲 平
(千葉西RC)



今年度、広報・IT委員会を引き受けて、あらためて広報とは何かと考えさせられました。

前年度より国体・障害者スポーツ大会への協力、この協力が広報活動の仕事と思う事もありましたが、ロータリアンが何をするのか、何をしているのか、内外に知ってもらう事が広報と思い各クラブにお願いを致しました。

特に前年度・今年度のガバナー補佐の皆様には大変ご協力をいただき有難う御座いました。今ロータリーは何をするか、何をしているか、CLP改革をいろいろやって居る様ですが、何か内向でないでしょうか、もっと分かりやすいロータリーでありたい、この事を常に思って委員会を運営して参りましたが、積み残した事がありますそれはITの方ですがこれは次年度に託し少しは前進すると思います。今期有難う御座いました。

私たちはなぜ職業奉仕を大切にするのか

職業奉仕研修委員会
委員長 富 一 美
(成田空港南RC)



織田ガバナーの要請により、土屋亮平 (PDG) 職業奉仕委員長ご指導の下、2つのプロジェクトのうちの一つであるクラブフォーラムのサポートを担当させていただきました。

ロータリーの原点、すなわち「ロータリーの綱領」に立ち返り、ロータリーでいう職業とは何か。職業を通じて社会に奉仕するとは何を意味するのか。そして、それがロータリアン自らにもたらすものは何か。

地区内84クラブを対象に各クラブからの要請によりクラブフォーラム研修リーダーを派遣させていただき、職業奉仕研修委員会独自に「ロータリーは、なぜ職業奉仕を大切にするのか」と云うテーマに基づき、職業奉仕の卓話（講演）やシンポジウムの出前提供をさせていただきました。

今回のプロジェクトが、地区内ロータリアンの皆さんの職業奉仕に対する意識の高揚に繋がれば幸いです。

新たな職業奉仕委員会の1年

職業奉仕委員長
パストガバナー 土 屋 亮 平
(松戸RC)



織田ガバナーは、ロータリーの原点「ロータリーの綱領」に立ち返ろうと要請されました。それに呼応して私たち11名の職業奉仕委員は、既存の概念に捕らわれることなく、身近な職業奉仕の概念の構築に苦慮致しました。統一認識として、次の様に結論付けました。ロータリアンは押し並べて実業人或いは専門職業人であります。その目的とするところの職業とは、1つには物質的利益を得る手段であり、2つに己を社会に役立たせる機会でもあります。其処に高い倫理観を備え、推進すれば職業の品位と品格が保たれ、ましてや不当な便宜、権利の濫用、背信行為等は論外です。

当然安定した利益が保証されます。自己の職業の権威と価値が堅持されます。因って、自己の職業上の成功は、社会に対する奉仕の成果が高く評価されたからです。

何と1942～43年度RI理事会決議・宣言文 Service Through Business 其のものでした。

私たちはなぜ週一度ロータリーに集うのか

クラブ研修委員会
委員長 海 寶 勘 一
(千葉西RC)



織田ガバナーから提議されたテーマをもち、各14分区のロータリー情報研究会が、成功裏に開催できました。

高潔な職業人として、親睦と奉仕を通して自己研鑽ができ、価値あるクラブ例会の意義を熱心に語り合い、討議の喜びを分かち合うことができました。

土屋亮平委員長からは、ロータリー談義の有意義さや礼節と心磨きの大切さを伝播して頂き、職業奉仕の真髄を良く理解して、事業者仲間が切磋琢磨の感化をしよう、人格形成するクラブ例会の心掛けを示唆されました。職業奉仕の精神こそが大道無難ですとの言葉が至宝として享受でき、各分区でグループ討議が果敢にされた熱き感動は、参加会員の心に慈愛の余韻を残し、各クラブ活性に波及効果されることが楽しみです。

環境、新世代、模擬国連 そして義捐金

社会奉仕委員会
委員長 浜 名 賢 一
(船橋南RC)



本年度の社会奉仕委員会（環境、RYLA、IA、RAの4委員会構成）は、まず7月10日に社会奉仕セミナーを開催し、講演とシンポジウムで、地球規模の環境問題にロータリーはどう取り組むかを考えました。地区大会では約80名が参加して新世代の集いを開催、高校生から30歳超の米山奨学生までと一緒に地球温暖化についてテーブルミーティングを行い、参加者に好評でした。模擬国連は別稿に記しますが、他部門の委員会のご協力も得て、思いで深い事業となりました。最後に大震災の義捐金でも皆様に多大のご支援をいただきました。この活用についてはこれからの課題です。皆様のクラブにお願いしたアンケートではそれぞれの多彩な活動をご報告いただきました。心より感謝申し上げます。

省 みて

インターアクト委員会
委員長 藤 崎 泰 裕
(千葉西RC)



ロータリーには、さまざまな出会いがあります。世界で！日本で！地区で！クラブで！ロータリアンと！ローターアクターと！インターアクターと！…嬉しい出会い！哀しい出会い！…どんな出会いであっても、偶然ではない必然的な運命だと思います。この出会いを大切に、関り続けたり深め続けたりすることで、出会いは大きくなります。すべてのものとの関りは、良い出会いと言えるかもしれません。良い出会いから得られる奉仕は最良です。インターアクトとの関りで、得られた出会いは最良でした。この出会いを大切に、関り続けていきたいと思ひます。

数多くの 実行委員会を通して

RYLA委員会
委員長 田 中 伸之介
(上総RC)



この度、「平成の名水100選の生きた水の里・久留里」で、1泊2日のRYLAセミナーが開催できたことは、織田ガバナーをはじめ、浜名委員長他、数多くの関係者にご協力頂き、深く感謝致しております。

RYLAセミナーを実施するにあたり、年度前から地区委員と会合を重ね、年度が始まり8回に及ぶ実行委員会を開催致しました。

委員会を開く度に、新しいロータリアンを知り、2度・3度と回を重ねる度に一層親しくなることができました。参加した実行委員の方も、同じように感じているのではないかと思います。1つの目的を通して、苦難を乗り越えて成功に至ることは、最も素晴らしい親睦であり、信頼性が生まれると思ひます。

次年度のRYLAも、最高の喜びが得られるよう、開催までの過程を楽しんで下さい。

ローターアクトとの 交流を楽しむ

ローターアクト委員会
委員長 長谷川 秀 夫
(柏RC)



現代の若者はマニュアル化された社会環境の中で、牙を抜かれ、飼いならされ、予定調和の中しか生きられません。ローターアクターも例外ではありません（織田ガバナー月報3月号）。『歯がゆい』という評価は、現代の若者にも見てとれます。

「やってみせ、言って聞かせて、させて見せ、ほめてやらねば人は動かじ」とは、山本五十六提督の言葉です。ロータリアンは職業を通じて、誰しも若い部下のリーダーとして、この言葉を噛みしめます。提唱クラブのローターアクト委員長さんも同様ののです。

アクトと共に活動するのは楽しい時間です。彼らもロータリアンから学びたがっています。お互いの職業に興味を持ち、世代を超えた異業種間交流を通じ、青少年を導く『鑑となるあり様』を強く意識しましょう。

「環境」を1年間考えて

環境委員会
委員長 吉田政紀
(館山RC)



環境委員会は「地球環境」を考える委員会でした。地球環境問題の代表は「地球の温暖化」です。これは地球に住む全ての生物の、しかも決して先送りすることの出来ない問題です。

それと同時に、この問題を解決することは、近い将来に枯渇する化石燃料に依存した現在の我々の生活を見直し、新たなエネルギーへの移行を加速することでもあるのです。

原子力は「温暖化」に対する切り札の1枚です。しかし、これは決して最終的な手段ではありません。プルトニウムも有限なものですし、今回の事故等を考慮に入れば、発電コストも決して安いものとは言えないでしょう。

人類はいずれは太陽エネルギーや地熱、風、海水の流れ等を効率良く使う術を手に入れるでしょう。また、手に入れなければ生存を続けることはできないでしょう。

環境委員長になって1年間、こんなことを考えていたのであります。

1年を振り返って

国際奉仕委員会
委員長 菅井直秀
(成田空港南RC)



この度の東日本大震災は地震、津波により多くの生命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に震災に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

織田年度の7月をスタートし国際奉仕委員会はWCSの実績、考え方が本来のロータリー思想とはかけはなれた実践行動と思い、私の考え方を発表させて戴き、先輩ロータリアンの方々はかなり心配の連絡を戴きました。地区委員としての基本は、各クラブの応援団であり、サポートをすることだけであります。

そして1月になり、RIでWCSの廃止が確定し現在に至っております。しかし2国間クラブでのWCSは国際プロジェクトとして、大いに奉仕活動を助長して戴きたいと思っております。

青少年交換委員会は上期順調に進んでおりましたが、3月の東日本大震災により交換学生が日本から帰国し、交換が成立しなくなり現状は一部が継続してありますが、休止状態であります。これについては、来期の委員会に託す事に致します。

一年間委員会としては頑張りましたが、各クラブ共にそれなりにすばらしい実績を残せたと思っております。

WCS委員長としての1年間

WCS委員会
委員長 佐藤伸
(浦安RC)

本年度は前年度と同様にガバナーよりWCS活動休止を告げられました。それで、本年度の地区WCSの活動方針は、「過去のWCS活動を整理し、次年度以降につながるWCS活動指針の作成」というものになりました。しかしながら、現実には「WCS交流セミナー」を開催して意見交換を行ったり、数回の卓話をしたくらいです。そのようなときに、皆さまもご存知のように、まさに突然に、RIから本年度をもって「WCS活動の終了」が知らされました。その後は、地区WCS委員会は卓話を除いて全ての活動を停止し、1円の支援金も集めておりません。唯一、「ニュージーランド地震の義捐金のとりまとめ」に関与できたのが最後の仕事となりました。

大きかった震災の影響

青少年交換委員会
委員長 山田則彰
(茂原RC)



今年度の青少年交換は年度当初は、順調なスタートを切ることが出来ました。今年度は長期3名、短期3名の候補生を募集することが出来、長期来日学生2名も特に問題なくこのまま無難に年度を送れそうな目途がついた頃でした。今度の大地震により事態は一変しました。来日中の学生は、1名が3月末に帰国、もう1名は本人の強い希望で滞在を望んだため保護者と、先方の青少年交換委員長の承諾書を取って在留を認めていますが、先方から帰国要請があった場合はただちに帰国の手続きを取ることになっています。今夏の来日予定学生については、皆かなり放射能について神経質になっており、来日を断念する学生が出てしまうかもしれません。また派遣候補生については、最悪でも受け入れだけでも認めてもらうよう交渉中ですがいずれにしても予断を許さない状況が続いています。この難局を少しでもよい方向に向けられるよう最大限の努力をしている最中です。

この国を救うのは誰!!

ロータリー財団委員会
委員長 川原 勝 壽
(佐原RC)



早いもので一年を振り返る季節になった今、頭をよぎる言葉がある。

『理念無き行動は凶器であるが、行動無き理念は無価値である。』本田宗一郎の言葉だ。

東日本大震災、原発事故、それに伴う風評被害等々、ボロボロのこの国で、ロータリアンは今何をすべきか。苦悩する毎日である。

困っている人々の手助けをしたい、この叫びは人間の本性に基づくものであろう。

義援金を募り、大震災からの復興を図るためには、戦後復興に匹敵する規模でなければならない。使い途をあやまらないように皆で監視し、知恵と情熱とお金を出し合おう。

その為に、ロータリー財団への寄付が少なくなっても良い。しばらくの辛抱だから。

1年を振り返って

財団補助金小委員会
委員長 上 総 泰 茂
(銚子RC)



地区委員としての役割より経験豊かな川原委員長と委員会メンバー皆様のおかげでいい経験をさせていただいたというのが実感です。

今年度地区補助金を申請され奉仕事業を実行された11クラブの皆様、大変ご苦勞様でございました。協力して事業に取り組む皆様の想いが申請書からも感じられ逆に勉強させていただきました。それにしても人道的か否かとは難しいものです。ご期待に沿えない面もあり失礼いたしました。他にもたくさんの奉仕事業が各クラブで自然体で行われていることと思います。引き続き地区補助金への関心を宜しくお願いいたします。

これからも善意の皆様との出会いを楽しみにしていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

1年を振り返って

財団奨学金小委員会
委員長 上 野 卓 爾
(千葉幕張RC)



3月11日の東日本大震災以来復興に向かって立ち上がった人たちや原発の安定化のために戦っている方たちに世界中から寄せられる、がんばろうというメッセージには地球がつながっていることを考えさせられます。世界で紛争がある一方、世界の絆は赤くて、温かいものでした。日本の青年が海外で学び、また、海外の留学生を受け入れることはこの絆をもっと太いものにするのではないのでしょうか。奨学生の選考活動と1年に及ぶオリエンテーションを通じて、私たちの奨学生は、奨学金を支給されるだけでなく、ロータリー2790地区の親善大使としての役割を担って出発していることを実感しました。ロータリー財団の未来の夢計画によって奨学金制度の変更もあることと思いますが今後とも宜しく願い致します。

1年を振り返って

財団寄付金小委員会
委員長 伊 藤 正 人
(鴨川RC)



3月11日に発生した東日本大震災により、2790地区内においてもおおきな被害が発生しています。被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

この未曾有の大災害に対して世界中から寄付や支援の申し出が寄せられています。本当にありがたいことです。

さて、ロータリー財団では皆様から寄せられた貴重な浄財を、6つの重点項目（母子の健康、水問題など）に活用し、世界でよいことをしています。ロータリアンは、財団のプログラムを通じて発展途上国に食糧や清澄な水、医療や教育を提供し、窮状にある人々生活水準の向上に大きく貢献しています。ポリオ撲滅キャンペーンは、4月26日現在で1億6,800万ドル（目標の80%）に達しています。

2790地区の今年度寄付実績は、4月14日現在、年次寄付：58クラブより217,710\$（78.5\$/人）、恒久基金：22クラブより21,000\$、使途指定寄付：24クラブより27,363\$、うちポリオ撲滅キャンペーン：22クラブ23,364\$（1人当たり691円）で、今期の目標には達していません。

寄付金小委員会という役目から、皆様にひたすら寄付増進をお願いすることとなりますが、財団の活動にご理解・ご協力をお願いします。

ロータリーだからできる 平和構築のための人材育成

ロータリー平和フェローシップ小委員会
委員長 青木 忠茂
(船橋RC)



第7期生卒業記念パーティでインドネシアの民族舞踊を披露した第8期生インドリ・デヴィさん(写真中央)と当地区のメンバー、カウンセラー

世界平和、紛争解決の実現を目標とするロータリー平和フェローシッププログラムへの、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

今年度、当地区は国際基督教大学のロータリー平和センターで研究を行う第8期生インドリ・デヴィさん(インドネシア)と第9期生パサリブ・ムティエラさん(インドネシア)をホストしました。

発足から9年が経過し、いよいよ成熟期を迎える当プログラムへのご協力を、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



国際基督教大学で研究中の第9期生、前列中央がパサリブ・ムティエラさん

米山記念奨学会活動の 一年を振り返り

ロータリー米山記念奨学会
委員長 中村 俊人
(沼南RC)



この一年間に於いての米山奨学会地区委員会の活動に於きまして、地区ロータリアンの皆様に多大な御理解及びご協力を賜りましたことに大変感謝を申し上げます。私たち米山地区委員会と致しましては「できることから始めよう」を掲げまして1年をスタート致しました。例年の恒例行事に關しましては継続と致しまして例年通り活動を致しましたが、その中に於きまして、8月に開催致しました米山奨学生やカウンセラー及び多くのロータリアン皆様に御出席頂き「米山記念奨学会セミナー」を開催致しました。

その中で、他地区の学友の方がたに、ロータリーアンの素晴らしさと自身が受けた恩恵への感謝の気持ちを参加して頂いた方々へお伝え頂きました。2790地区の米山奨学生の皆様にその思いを伝えられたと感じております。

3月に於いての東日本大震災に於いて、私たちも留学生の皆さんも生まれて初めての災害の中で、幸いにも米山奨学生の皆さんに怪我や被害に遭われた方が無かったことが救いでもございました。奨学生や学友の皆さんから元気に連絡を頂きまして、皆さんの今後への期待をしながら言葉を伝え、学友会の活動と共に御世話頂いたロータリアンの皆様との交流を活発にしていきたいと考えております。今後とも米山記念奨学会活動への御理解とご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

米山学友

米山奨学金・学友小委員会
委員長 矢崎 康男
(船橋西RC)



地区内各ロータリアンの皆様方には米山奨学事業にご理解とご支援を頂き厚く御礼を申し上げます。

米山奨学金制度はただ奨学金を支給するのではなく、ロータリアンとの交流を通じて奨学生は奉仕の精神に触れ、親善交流を通じた国際理解が生まれます。

当地区では本年3月までは23人、本年4月からは28人の留学生を支援しております。去る3月25日には修了した奨学生の歓送会(修了式)をカウンセラーにも参加して頂き行いました。奨学生同志は国籍・大学は異なるものの友情を深め、親睦を計ることができた有意義な会でした。

本年3月までに当地区で巣立った奨学生は約500名です。

米山学友会は元奨学生と現奨学生によって組織され、活動内容は親睦を深めるだけでなくロータリーの地域奉仕活動に参加したり、災害被害者の為のボランティア等、様々な活動を行っています。

当地区では、本年度学友会会長に新たに郭東潤氏(千葉大学助教(工学博士)世話クラブ:君津RC)を迎え、6月4日に学友会総会を開催し、ロータリアンと学友の親睦を深め、地区学友会の活性化を目指しています。

これからの学友の活躍にご注目下さい。

1年を振り返って

米山寄付金小委員会
委員長 山本 康昭
(千葉西RC)



地区の役員など経験したことのない私が拝命し、またたく間に経過してしまった1年間でしたが、織田ガバナー始め財団本部役員の平山・森嶋バスターガバナー、そして山田ガバナーエレクト始め委員会の諸先輩のご指導に心より感謝申し上げます。

毎月財団本部より送られてきます寄付金の集計報告書に接し、分区や地区、そして全国の集計数字の推移をまのあたりにしますと、全体的なレベルを向上させることに難しさを痛感した1年でありました。各クラブの会長や委員長への依頼のみならず、米山月間等を活用して、奨学生ともども各クラブを訪問し、直接会員の方々に訴える必要を痛感いたしました。目標額を次年度も会員一人当たり15,000円とし、達成に向けて努力してまいりますので、全会員のご協力をお願いいたします。

青少年による環境をテーマとする模擬国連

実行委員長（地区社会奉仕委員長） 浜 名 賢 一



さる5月1日10時から17時まで、千葉市で「青少年による環境をテーマとする模擬国連」を開催し、26名の若者が10カ国の大使と議長団になりきって、「地球温暖化防止・気候変動対策」を協議しました。昨年12月に説明学習会を開催し、その後大使館訪問など事前調査を進め、その政策や国民の考え方に基いて発言しました。自分の意見ではなく担当国の大使としてその国の声を主張するというのは、国際理解だけではなく、相手を思いやる心の涵養にも役立つものと思われま

す。会議は「気候変動枠組条約案」の修正という形で進められ、各国の主張→協議→妥協→修正案提案→協議→議決という過程を経て、解決のためのプロセスが如

何に大事かを学びました。幅広い年齢の青少年が同じ場で話し合う中で、お互いに刺激があったものと思います。特に高校生は大学生や社会人を次の目標として身近に描くことができたのではないのでしょうか。午後は一般公開（参観者120名）としたためはじめはかなり緊張していましたが、次第に落ち着き、午前から午後へと会議はかなり進化しました。

今回は大震災後の諸事情で日程を変更したため、6名が入学式や就職の面接試験と重なり参加を断念しました。とても残念なことでした。

議決後のレビュー（振り返り）では、「良い経験になった」「次はもっとよく主張したい」「模擬国連をやってみよう」などの嬉しい感想が続出しました。

最後にジャーナリストの田岡俊次さんに「新世代へのメッセージ」を語っていただき、織田ガバナーの挨拶で締めくくりました。

企画運営には協賛いただいた「日本模擬国連」の皆さんに大変お世話になりました。国際ロータリーの広報補助金による千葉テレビでの特別番組放映（5月21日）、ご後援いただいた千葉県教育委員会・千葉市・千葉市教育委員会、ご支援ご協力いただいたロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。

※ロータリーの友6月号、月信3月号の記事もご参照ください。



会議参加国政府代表一覧

ポリビア (県立柏高校)	若倉 義章 (県立柏高校)	武智 玖海人 (県立柏高校)	渡邊 あみ (県立柏高校)
中国 (日本模擬国連)	萩原 剛志 (東京大学大学院)		
ドイツ (県立幕張総合高校)	呉 民佑 (県立幕張総合高校)	陳 凱 (県立幕張総合高校)	檜垣 美帆 (県立幕張総合高校)
日本 (日本模擬国連)	金子 健太 (一橋大学)		
ケニア (青少年交換候補生)	御園 和也 (県立大多喜高校)	角田 優子 (八千代松蔭高校)	佐藤 碧美 (共立女子高校)
メキシコ (青少年交換・東京農大)	村石 亜由美 (東京農業大学)	澤田 泰三 (東京農業大学)	Jeronimo R. Alberto (東京農業大学)
サウジアラビア (青少年交換・ローターアクト)	齊藤 浩俊 (青少年交換OB)		
タイ (市原中央高校)	原地 将太郎 (市原中央高校)	山本 玲央 (市原中央高校)	藤本 広 (市原中央高校)
ツバル (ローターアクト)	望月 由紀子 (館山RAC地区代表)	土橋 文博 (船橋西RAC地区幹事)	沼崎 聖子 (船橋東RAC地区会計)
アメリカ (日本模擬国連)	北條 早紀 (明治大学)		

議長 (日本模擬国連)	高内 悠貴 (東京大学大学院)
会議監督 (日本模擬国連)	武智 郁 (東京外国語大学)
アドバイザー (日本模擬国連)	在間 咲乃 (東京外国語大学)



2014-2015年度 ガバナー候補者推薦のお願い

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 織田 吉郎

地区指名委員会
委員長 山中 義忠

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2014-2015年度ガバナーに就任するガバナー・ノミネー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2011年6月30日までに地区ガバナー指名委員会委員長宛（第2790地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦くださいますようお願いいたします。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出してください。

なお、ガバナー指名委員会委員長がその選択をするにあたっては、その選択範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）ガバナー・ノミネーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項をご参照ください。

地区野球リーグ開幕式



日時 平成23年4月16日(土)

場所 青葉の森球場

参加チーム 7チーム



行事予定 (6月)

- 2日(木) がんばろう!2790地区チャリティーパーティー ホテル ザ・マンハッタン
4日(土) 第16回日本青少年交換研究会(4~5日)愛媛県松山市 ホテル奥道後
5日(日) 【クラブ周年行事】旭ロータリークラブ創立50周年記念式典
5日(日) ロータリー財団委員会 京葉銀行文化プラザ 13:00~
第11回委員会
合格説明会 オリエンテーション 壮行会
12日(日) 【11-12年度第6回ガバナー補佐会議、第1回ガバナー補佐・委員長合同会議】
京葉銀行文化プラザ 13:00~15:00
25日(土) ロータリー財団委員会 第12回委員会

文庫通信(284号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

～ガバナー月信を中心に新着の資料から～

- ◎「ロータリーから、あなたへ。〈2000年国際協議会講演より〉」リチャード・キング 2011 2p (D.2500 月信)
- ◎「魅力的なロータリークラブ」北 清治 [2010] 4p (D.2530 地区協議会記録)
- ◎「ロータリーの源流」田中 毅 2011 21p (D.2640 月信)
- ◎「ベンジャミン・フランク・コリンズのスピーチ原稿について」成川守彦 2011 4p (D.2640 月信)
- ◎「ロータリーの基本精神—寛容と奉仕の心」上野 操 2011 1p (D.2580 月信)
- ◎「出会いの不思議と面白さ」渡辺好政 2011 2p (D.2500 月信)
- ◎「『ノーブレス・オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」織田吉郎 2011 1p (D.2790 月信)
- ◎「青少年はロータリーの継承者」若林洋一 [2011] 9p (D.2710 地区大会特集号)
- ◎「CLP 導入しました」天神正人 2011 2p (D.2500 月信)

～震災に関して～

- ◎「その時ロータリーは…阪神・淡路大震災第2680地区の記録」D.2680 1995 107p 【申込先:ロータリー文庫(コピー)】
- ◎「震度7それでもわが大地を愛す(新潟県中越大地震復興支援活動の記録)」D.2560 2005 48p
【申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)】

— [上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)] —

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL:03-3433-6456 FAX:03-3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp/> 開館 午前10時~午後5時 休館 土・日・祝祭日

月信担当幹事 宮内 博

月信最終号を迎え、ページに余白が空きましたので、月信担当幹事として、一文投稿させていただきます。月信担当に任命され不安と期待を胸に取り掛かせて頂きましたが、何分不慣れで不得手でどうなる事かと、はらはらドキドキで始めた編集作業もあったという間に最終号です。振り返りますと、誤字脱字ミスプリも多々あり、投稿者にご迷惑をお掛けしたり、織田ガバナーにご迷惑を掛けたりと反省反省(汗)ではありますが、私にとってはハッピー・ハッピーでした。毎月投稿してくださる方々の素晴らしい文章から拝察される人柄を思い描きながら、いち早く原稿を拝読できる特権を思うままに利用し、地区の会員の皆様以上に良い思いをさせて頂きました。(感謝感謝)3月11日の東日本大震災が発生し、国難の事態に月信として、何かお伝えしなければと焦りましたが、此れといった記事も配信できず、ガバナーの文章からの発信ばかりで反省しております。月信編集も残すは9月発行の総集号のみとなり最後の締めはきちんと「ノーマス」で締めたいと思います。とりあえず最終号の中締めでありますので、織田ガバナー・地区幹事団の皆様・事務局の月信担当の福島さんそして名雪さんそしてそして寛容の心の地区の会員の皆様に感謝申し上げて中締めのお礼とさせていただきます。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)

氏名	クラブ名
大島 則夫	浦安 RC
木下 一夫	浦安 RC
植松 行永	浦安 RC
岩瀬 和仁	茂原 RC
石井 隆道	佐原香取 RC
石井 良典	佐原香取 RC
小林 聡	佐原香取 RC
山崎 浩一	佐原香取 RC
榊原 雅博	佐原香取 RC

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

氏名	クラブ名	回数
齋藤 博昭	浦安 RC	6 回目
吉野 昭一	茂原 RC	4 回目
渡辺 孝	成田 RC	2 回目
香取 信治	佐原香取 RC	1 回目

年次寄付 (ベネファクター)

氏名	クラブ名	回数
小林 信雄	東金 RC	1 回目
木村 卓生	船橋 RC	1 回目
高橋 修	松戸北 RC	1 回目

米山記念奨学会寄付


氏名	クラブ名	回数
竹尾 白	千葉南 RC	7 回目
諸岡 靖彦	成田 RC	3 回目
狩野 勉	銚子東 RC	3 回目
関口 徳雄	浦安 RC	2 回目
平野 省二	成田 RC	2 回目
並木 孝治	東金 RC	1 回目



新ロータリアン (敬称略)

 越川 義章
(佐原 RC)
内科(循環器内科)
1月20日入会

 稲山 雅治
(八千代 RC)
口腔外科医
3月25日入会


 小溝 正行
(柏西 RC)
税理士
3月29日入会

 家田 真人
(松戸北 RC)
地方銀行
4月2日入会

 仲尾 卓史
(千葉北 RC)
ウェブデザイン
4月7日入会

 上原 広嗣
(成田空港南 RC)
弁護士
4月7日入会

 岡島 昭信
(柏西 RC)
仏教
4月15日入会

 飯田 秀昭
(袖ヶ浦 RC)
酸・窒素製造
4月18日入会

 山口 哲永
(千葉 RC)
建築
4月18日入会

 星 安広
(銚子東 RC)
ホテル
4月19日入会

 伊丹喜比古
(新千葉 RC)
建築附帯業
4月20日入会

 鈴木 利雄
(八千代 RC)
電気工事
4月22日入会

 大平 靖之
(船橋 RC)
ビール製造業
4月26日入会

 永峰 勝巳
(千葉 RC)
信用金庫
5月16日入会

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2011年4月分）

分区	クラブ名	出席率 %	例会 数	会 員 数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	4	48	0	49	0	1
	市川東	100.00	4	42	1	40	0	-2
	市川南	65.80	4	17	1	17	1	0
	浦安	82.50	4	41	0	43	0	2
	市川シビック	76.90	4	38	0	38	0	0
	浦安ベイ	80.90	4	21	0	21	0	0
第2分区	船橋	96.78	4	24	0	24	0	0
	船橋西	85.56	4	48	4	44	4	-4
	鎌ヶ谷	85.23	4	25	2	25	2	0
	船橋東	97.23	4	31	5	30	5	-1
	船橋南	83.33	4	25	2	24	2	-1
	船橋みなと	83.40	4	26	7	26	7	0
第3分区A	千葉	93.70	4	65	0	65	0	0
	新千葉	95.55	4	47	0	48	0	1
	千葉西	82.97	4	50	5	49	4	-1
	千葉中央	78.57	4	37	0	38	0	1
	千葉幕張	76.69	4	32	4	35	4	3
	千葉東	81.00	4	28	3	30	4	2
	千葉若潮	88.93	4	30	0	31	0	1
第3分区B	千葉南	84.22	4	37	4	39	4	2
	市原	77.27	4	43	3	44	3	1
	千葉港	75.00	4	29	0	29	0	0
	市原中央	87.02	4	50	1	52	1	2
	千葉北	74.32	4	22	1	23	1	1
	千葉緑	80.36	4	27	2	28	2	1
第4分区	木更津	80.56	4	41	3	45	4	4
	上総	73.61	4	19	0	18	0	-1
	富津	89.47	4	19	1	18	1	-1
	富津中央	91.27	4	22	0	21	0	-1
	木更津東	88.05	4	40	0	45	0	5
	君津	94.07	4	39	2	40	2	1
	袖ヶ浦	95.08	4	28	3	28	3	0
	富津シティ	75.00	4	19	0	17	0	-2
第5分区	館山	83.96	4	56	4	55	3	-1
	鴨川	62.50	4	27	2	28	4	1
	勝浦	76.25	4	42	8	40	6	-2
	千倉	76.19	3	16	1	15	2	-1
	鋸南	85.75	4	13	1	14	1	1
第6分区	館山ベイ	73.86	4	24	0	22	0	-2
	茂原	87.71	3	58	2	60	2	2
第6分区	東金	81.00	4	25	0	25	0	0
	大原	89.70	4	15	1	14	1	-1

分区	クラブ名	出席率 %	例会 数	会 員 数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	大多喜	75.00	3	13	1	12	1	-1
	成田空港南	87.88	3	40	0	44	0	4
	茂原東	77.41	4	28	3	24	3	-4
	茂原中央	81.82	4	22	2	23	2	1
	大網	74.19	4	29	1	31	1	2
	東金ビュー	65.80	4	26	1	30	1	4
第7分区	銚子	85.54	4	44	2	44	2	0
	旭	90.00	4	45	1	44	1	-1
	八日市場	89.40	4	44	2	46	2	2
第8分区	銚子東	86.99	4	33	0	32	0	-1
	佐原	81.25	4	45	0	48	0	3
	多古	83.93	4	19	0	16	0	-3
第9分区	小見川	94.05	4	23	0	21	0	-2
	佐原香取	74.90	4	26	0	26	0	0
	成田	93.55	3	58	0	62	0	4
第10分区	八街	82.24	4	39	1	39	1	0
	印西	83.33	4	28	0	27	0	-1
	白井	60.00	4	15	0	15	0	0
	富里	86.00	4	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	72.23	4	60	0	63	0	3
	柏	68.10	4	44	9	44	8	0
第11分区	我孫子	79.20	4	26	0	27	0	1
	柏西	80.95	4	51	3	54	3	3
	沼南	83.02	4	23	1	21	1	-2
	柏南	84.50	4	29	3	29	4	0
	習志野	66.26	4	38	1	39	1	1
	八千代	85.25	4	46	0	49	0	3
第12分区	佐倉	71.15	4	13	2	13	2	0
	八千代中央	73.40	4	27	0	28	0	1
	四街道	80.40	4	22	3	23	4	1
	習志野中央	79.76	4	39	6	42	6	3
	佐倉中央	61.90	3	14	1	14	2	0
	松戸	86.34	4	48	0	52	0	4
第13分区	松戸東	89.17	4	53	0	53	0	0
	松戸北	85.20	4	40	0	37	0	-3
	松戸中央	84.93	4	41	2	37	2	-4
	松戸西	76.09	4	21	0	23	0	2
第13分区	野田	81.63	4	49	4	49	4	0
	流山	85.50	4	19	4	19	4	0
	野田東	78.06	4	32	0	32	0	0
	流山中央	75.00	4	23	2	23	2	0
野田セントラル	83.33	4	25	0	24	0	-1	

クラブ数	84RC	2010年7月1日	地区会員数	2,773人	当月平均出席率	83.13%
		2011年4月末日	地区会員数	2,803人	増減	+30
		2010年7月1日	地区女性会員数	128人	女性会員増減	+2
		2011年4月末日	地区女性会員数	130人		

6月のロータリーレート

82 円